

報道関係各位

2019年7月10日

開催中!

帝塚山大学附属博物館所蔵の古代瓦89点を出張展示 BC4世紀の テラコッタ製メデューサを学外では初出陳

帝塚山大学付属博物館・城陽市歴史民俗資料館共催 JOYOエコミュージアム令和元年度夏季特別展 「自瓦自賛-瓦を解き明かすー」 ~9月8日(日)まで

帝塚山大学附属博物館は城陽市歴史民俗博物館と共催で、7月6日(土)から9月8日(日)まで、特別展「自瓦自賛 - 瓦を解き明かすー」をJOYOエコミュージアム(京都府城陽市寺田今堀1 文化パルク城陽西館4階)にて開催します。本展示は、文部科学省 平成29年度私立大学研究ブランディング事業に採択された「『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進」の一環で実施するものです。

城陽市歴史民俗資料館では初めてとなる瓦の展示。今回は、 約8,000点に及ぶ中国、朝鮮半島、日本の古代瓦を所蔵する本 学附属博物館から89点の瓦を出陳し、初の共同展示が実現しました。



メデューサ頭飾アンティフィックス (BC4世紀 エトルリア)

城陽市にある古代寺院跡(久世廃寺、平川廃寺、正道廃寺)から出土した瓦は飛鳥時代から奈良時代のもので、平城京の影響をうかがえる瓦も多く、このことから当時の城陽市域と往時の政権とのつながりや、各地の瓦工房や瓦職人の技術の伝播なども考察することができます。本展示では、城陽市の古代寺院跡から出土した飛鳥時代から平安時代の瓦を中心に、中国や朝鮮半島の瓦を紹介。中国や朝鮮半島からもたらされた瓦の歴史や技術を明らかにします。そのほかにも、BC4世紀にエトルリアの神殿で用いられたテラコッタ製のメデューサ頭飾アンティフィックス(帝塚山大学所蔵)を学外で初公開するなど、日中韓の古代瓦以外にも見どころが満載の特別展となりました。

さらに、会期中の、7月28日(日)、8月11日(日)、25日(日)、9月8日(日)、には、本学文学部日本文化学科の学生・人文科学研究科日本伝統文化専攻の大学院生が展示の見所を解説します。(各日とも午後2時から午後3時まで。参加費無料・但し入館料必要)

貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をくださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【帝塚山大学附属博物館】

開学40周年記念事業の一環として、2004年4月1日に開館した、奈良県で2番目の大学付属博物館。日中韓の瓦を約8.000点収集し、広く一般に公開している。

本件に関する お 問 合 せ 発 信 者

帝塚山大学 広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 Tel:0742-48-9192 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp



報道関係各位

2019年7月10日

帝塚山大学付属博物館・城陽市歴史民俗資料館共催 JOYOエコミュージアム令和元年度夏季特別展

「自瓦自賛-瓦を解き明かすー」

開催期間 令和元年7月6日(土)~9月8日(日)

ただし、7月8・16・17・22・29日、8月5・13・14・19・26日、9月2日は休館

開催場所 五里ごり館 城陽市歴史民俗資料館

(〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地 文化パルク城陽西館4階

TEL:0774-55-7611 FAX:0774-55-7612)

開館時間 10:00~17:00 (入館は16:00まで)

入館料 おとな 200円 小・中学生 100円

市内在住の小・中学生、65歳以上の方、身障者手帳等をお持ちの方は無料

【関連イベント】

1 第84回文化財講演会

テーマ 「地を飾る瓦」

講師 愛荘町立歴史文化博物館 学芸員 山本剛史 氏

日時 令和元年7月14日(日) 午後1時30分から午後3時まで

場所 寺田コミュニティセンター会議室(文化パルク城陽西館3階)

参加費 無料 申込み 不要

※講演会終了後、講師の山本剛史氏によるギャラリートークを開催します。

2 ギャラリートーク

帝塚山大学生・大学院生が展示の見所を解説します。

日時 令和元年7月28日 8月11.25日 9月8日 すべて日曜日 午後2時から午後3時まで

場所 城陽市歴史民俗資料館 特別展示室

参加費 無料(入館料必要) 申込み 不要

本件に関する お 問 合 せ 発 信 者

帝塚山大学 広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 Tel:0742-48-9192 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp

